

1月定例山行

1月16日（日） 荒谷山

参加者19名

CL 小林 SL 鬼武

小山 柴田 宮木澄 上別祖
原田 佐々木敏 坂井 石倉
安永 清水 宮木一 竹野栄
水木 村島 熊野 滝 三浦

コースタイム

ふじが丘登山口 9:40→不動院 10:25→南峰 10:55→

荒谷山頂上 11:20～（昼食）～12:20→あさひが丘県営住宅 13:00 下山



○

雨の予報なのでザックの中の合羽と傘を確認して家を出た。去年の秋、幾つかの台風の襲来があり、「山が荒れているかもしないなあ」と、下見をサボったことを悔やみながらアストラムの客となり、早めに長楽寺の駅に着いた。

きょうは総勢19人の参加となった。怪しい空模様ではあるが、まだ雨も雪も落ちてこない。団地の舗装路を上り詰めたところが登山口、その広場で体操をして出発した。

冬木立の静かな道を少し入ると、いきなり丸太の階段になる。快調な足取りで「破暗」の灯籠を過ぎ、鐘楼まで登り、ここで一息入れた。山頂への道と不動院への分岐を東に取り、展望が開けて不動院に着いた。少し霞んでいるが、武田山、火山を指呼の間に、遠くは呉方面の山も望めた。暫し展望を楽しんだが、ここからが荒谷山への正念場。きつい登りが待ってるぞ！さあ出発しよう。何度も登った山なのにトップを歩いていると「この道でいいのかな」と、時に不安がよぎることがある。そんな時、誰かが付けてくれた登山ルートを示す赤テープはありがたい。

ようやく稜線に出て、南峰を経由、お昼前には頂上に着いた。「荒谷は展望のない山頂」と、不評の山らしいが、地元の人の手で少し雑木が伐採されていた。時折雪がちらつき寒いので、昼食後早めに腰を上げ

て下山の途に。あさひが丘へのコースは倒木で荒れていたが、ミヤマシキミ、アセビの花穂が紅色に膨らみ、春の訪れを待っていた。

(記 小林愷子)

○
脳天気気質、天候は？

長楽寺駅に9時集合とは有難い。歳を経ると早起きが苦しいと思うことがあります。今日のCLは小林さん。自称私は脳天気気質と宣う、自然の天気とどう関係があるのかなあ？

寒い長楽寺駅を出発、市街地を抜ければ登山口です。軽くストレッチ運動を済ませ出発する。空は澄み最高の登山日和になりそう。急登の丸木階段が続くそれを登り詰めた所に大石灯籠、鐘楼が現れ小休止。各自思い思いに鐘を突き余韻を楽しんでいました。少し登った処に小ぎれいな不動院の社が在り境内より広島湾が一望できます。環境がよく春夏秋冬楽しめそうです。一息入れ又喘ぎ々の急登を登りきると残雪のある明るい稜線に出ました。間もなく631mの荒谷山山頂です。

昼食を始めると急に寒くなり下山時刻を繰り上げてバス停に急ぎました。下界は快晴です。解散場所大町駅に早く着きすぎ反省会する氣にもなれず天候に左右されましたが楽しい山行でした。

(記 佐々木 敏)